

2019年2月16日

課題名：B型慢性肝疾患に対する各種直接型抗ウイルス薬/核酸アナログ製剤の治療効果  
と副作用の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、B型肝炎に対する抗ウイルス薬ーゼフィックス、ヘプセラ、バラクルード(エンテカビル)、テノゼット、ベムリディの安全性有効性を検証する目的で、B型肝炎の患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。

◆対象となる患者さん◆

2001年12月から、2022年12月までの間に、B型肝炎に対する抗ウイルス療法を目的として上記の薬剤を内服投与された方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、診断名、合併症、併存症、使用した薬剤、臨床検査成績、投与開始後の自覚症状の変化、これまでの治療経過、各種検査の結果

◆研究方法◆

この研究は診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 高島 弘行

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明